

# 第6回（最終回）城崎・港地域 デザイン懇談会を開催しました

城崎・港地域の最終回となる「第6回城崎・港地域デザイン懇談会」を、12月6日（月）城崎庁舎 大会議室で開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービスの提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

まず、第5回目において他グループのアイデアや意見も参考にしながら、自分たちの提案を実行することは「あり得るか」「あり得ないか」等について検討していただきましたので、その結果について振り返りを行いました。

最終回となる今回は、第1回から第5回の懇談会で出し合っていたいただいた提案について各グループで最終確認とまとめを行い、さらなるアイデアについても議論していただきました。最後に各グループがどのようにまとめたのか、全体で共有しました。

## 懇談会の様子



城崎・港地域の「地域デザイン懇談会」は今回で終了となりました。参加者の皆様には、貴重なご意見やアイデアを多数いただきました。誠にありがとうございました。  
市民の皆さまに、懇談会での成果を報告する会を3月に開催する予定です。詳細は決まり次第お知らせします。



# 参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

## 文芸館 麦わら細工 伝承館

- 1つに集約し、健康福祉施設の機能も集約する
- 歴史・伝統と地域の特性を学べる施設へ
- 文化的価値は残したいので、集約しない

## 城崎健康 福祉センター

- 現行の業務内容では施設が大きすぎるため、別施設へ集約する
- 福祉機能は1施設であるべき

## 木屋町 小路

- 民間へ譲渡し、ノウハウを活かすことで、多様な人に向けた自由なアイデアで、施設運営することを目指す
- 城崎の魅力を観光客へ向けて、情報発信してくれる商業施設として民間へ任せる

## エコ ハウス

- 利用目的を「環境関連」にこだわらず、市内企業に売却し上手に活用してもらう
- 民間または県に譲渡し、学生のためのシェアハウスとして活用

## 小学校 中学校

- 城崎・港それぞれ小中一貫校にして残す
- 子どものより良い成長、教育のことを第一に考える
- 統合に向かってしまうのはやむを得ないが、慎重に市民の意見を聞く必要がある

## 公営住宅

- 新しい住宅に集約することや、空き家を活用する
- 利便性の高い、入居率を高められる住宅を目指す

### ❖全懇談会を通してのご意見・ご感想❖

- ・班のメンバーが固定されていたが、他の班のメンバーとの意見交換の機会があっても良かったのでは。
- ・そこに携わる人にとってはとても重要な問題なので、このあとも慎重に話し合ってもらいたい。
- ・時代の流れでより良い方向へ変えていく事は必要。住民の暮らしを大切に考えてほしい。みなさんの意見をよく聞いて、計画に反映させてほしい。
- ・多くの方のものの見方、考え方に接することができ、新たな発見、気づきに結びつけることができた。

【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は  
市ホームページをご覧ください。

### 【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129  
城崎振興局 地域振興課 電話 21-9065